

TFB502シリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

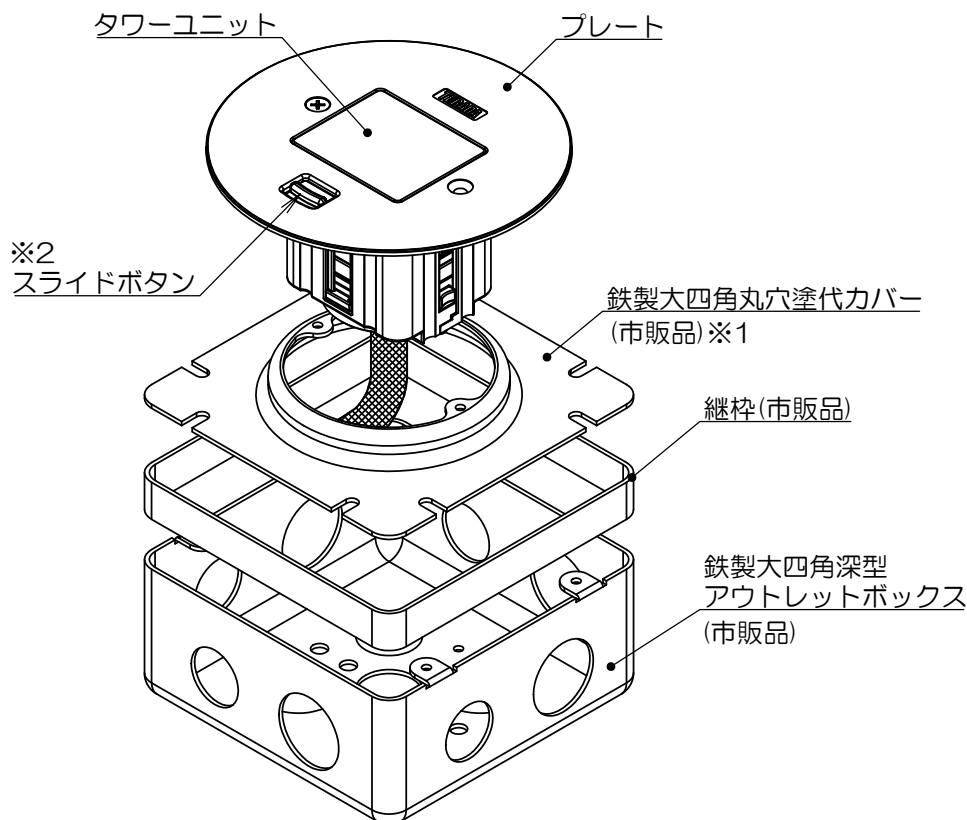
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

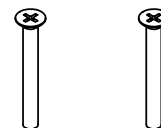
 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
 必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆各取付ネジは確実に固定してください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 (インパクトドライバーの使用不可)
	◆コンセント使用状態時に上または横からの荷重、衝撃が加わらない状態でご使用ください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。

◆部品構成と名称



添付品



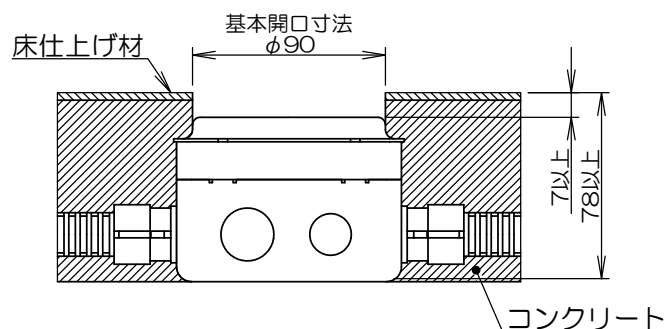
プレート取付用サラネジ
M4×35 2本

◆注意◆

1. 樹脂製塗代カバーは適合致しません。
2. スライドボタンを、ドライバー等で強く押さないでください。
破損・機能不良の原因となります。
3. 取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

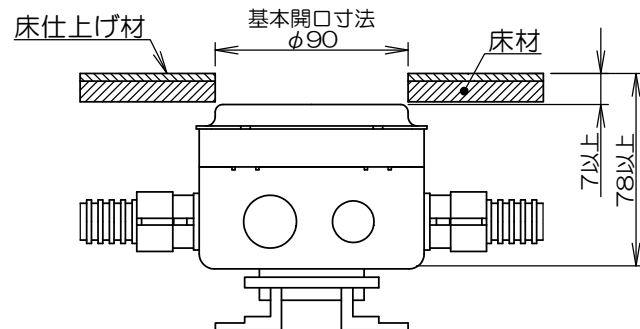
施工方法

床面の開口



打ち込みの場合

ボックス打ち込み後、塗代カバー上部のコンクリートにハツリ作業を行ない、床仕上げ材にも同じ開口を施します。



二重床の場合

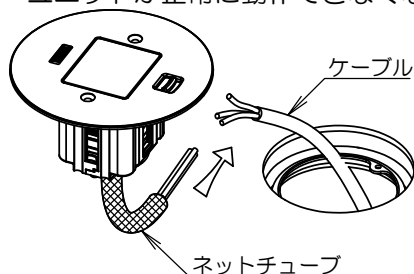
ボックス固定後、塗代カバー上部の床材と床仕上げ材に同じ開口を施します。

1 ケーブルの接続

ボックスに引き込まれているケーブルを、コンセントのリード線に確実に接続してください。

◆注意◆

- ・リード線のネットチューブは絶対に外さないでください。断線などの原因になります。
- ・ケーブルの引き込みは最小限に抑えてください。引き込みが長すぎると、ボックス内に十分なスペースが取れなくなり、タワーユニットが正常に動作できなくなる原因となります。

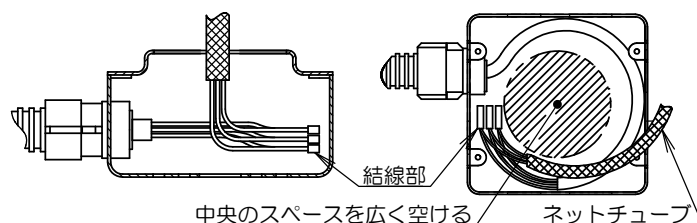


2 接続部の収納

結線部をアウトレットボックス内に戻した後、結線部とケーブルをボックス側面に寄せて、プレート本体が収まるスペースを広く空けてください。

◆注意◆

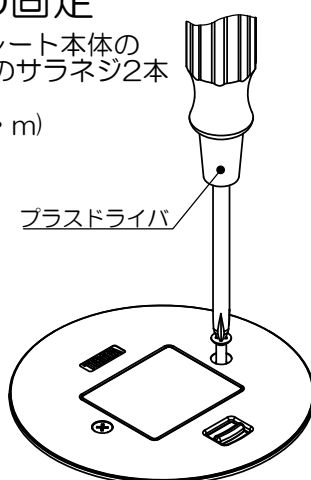
- ・リード線及びケーブルを、プレート本体内に押し込まないでください。使用時、断線などの原因になります。
- ・ボックスの中央部に十分なスペースが取れていないとタワーユニットが正しく上下動しない場合があります。



中央のスペースを広く空ける
ボックス内配線イメージ

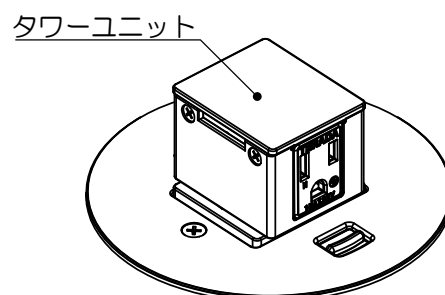
3 プレート本体の固定

塗代カバーのM4タップとプレート本体のサラ穴の位置を合わせ、添付のサラネジ2本で固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



4 上下動作・回転動作確認

プレート本体の施工完了後、タワーユニットの上下動作、回転動作が正常に行なえるか確認をしてください。
うまく動作しない場合は、手順[2]を確認してください。



◆注意◆

コンセント使用状態時に上または横からの荷重、衝撃が加わらない状態でご使用ください。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361